

書あり 師あり 友ありて

希 ～今ある希望を歌に込めて～



学校長 平田 高之

文化発表会については、新型コロナウイルス感染症対策のために、学年単位の学年発表会形式とさせていただきます。現在、合唱の取組を行っています。

学年発表会の内容については、生徒会作成のオープニング及び吹奏楽部の演奏は映像といたしました。吹奏楽部については、「第43回定期演奏会」を、10月25日(日)に明石市民会館大ホールをお借りして行います。体育大会では、マーチングやファンファーレを披露してもらいましたが、3年生には、今までの練習の成果を思い切って発揮してほしいと願っています。

その後、学級合唱及び学年合唱を行います。練習時はマスクを着用していますが、当日の「学級合唱」だけは、前後左右の間隔を十分確保し、マスクを外して合唱を行います。(指揮者・伴奏者はマスクを着けたまま) また、合唱最前列と指揮者・生徒席の間隔も十分確保します。ただし、「学年合唱」については、生徒間の間隔を十分確保できず、体育館のフロアも使い保護者席側まで広がりますので、マスクをつけたまま行います。

合唱の質はもちろん大切なのですが、今回のような状況下では、体育大会のマスゲーム、2・1年ソーラン節のように、あくまで今できることに希望を持って、学年全体で一つの歌を創り上げていこうということをねらいとして取り組んでいます。

なお、体育館については、密閉を避けるために、外部からの音が時には演奏の妨げになるかもしれませんが、窓を開放するとともに、空気清浄機及び体育館全体の空気を循環させるための扇風機の設置を行う等の感染予防に努めます。

展示発表については、美術部・カルチャー部及び各教科の作品に加えて、美術科教員の□□□□及び先日 TV でも紹介された□□□□の作品も紹介いたします。

なお、プログラムでも示しておりますが、新型コロナウイルス感染症対策として、以下のことを保護者の皆様にはお願いしたいと思います。様々な制限がある中での実施となりますので、ご理解ご協力頂きますようお願いいたします。

～ 保護者の皆様へのごお願い ～

- ・保護者のご観覧は、各ご家庭最大2名制限とさせていただきます。未就学児につきましてはこの限りではございません。
- ・受付の際、健康観察票を回収させていただきます。
- ・来校時には上靴をご持参ください。また、必ず名札の着用をお願いします。
- ・学年発表については、できるだけ密を避けるため、お子様のおられる発表のみのご観覧とさせていただきます。また、椅子の消毒のため、完全入れ替え制とさせていただきます。
- ・プログラム掲載のステージ発表時間はあくまで目安です。ただし、開始予定時刻を早めることはいたしません。他学年が授業を行っており、密を避けるためにも並ぶことはくれぐれもご遠慮下さい。
- ・保護者の方は、体育館南側の階段を上がって体育館正面から入場してください。退場は体育館北側の階段からグラウンドに出て頂きます。
- ・お子様の合唱を撮影される際は、他の方のご迷惑にならないようビデオカメラ等を頭より上にあげないでください。また、個人情報保護の観点から、SNS 等へのアップは絶対にしないでください。

新型コロナウイルス感染症に関する対応について ＝ 生徒等が感染・濃厚接触者や PCR 検査を受検した場合等の対応 ＝

このことについては、「学校だより第66号」で「本校関係者が新型コロナウイルス感染症となった場合の対応について」として、お知らせしておりました。

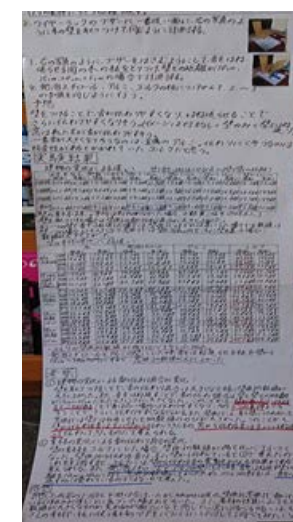
本市においても、園児児童等が新型コロナウイルスに感染する事案が発生する等したことにより、市教育委員会から、その対応についてのお知らせの文書が届きましたので本日配布しております。必ずご確認くださいませようをお願いいたします。特に、様態による出席に関する取扱い及び登校開始日の取扱基準が明確に示されておりますので、その基準により本校も対応してまいります。なお、以前よりお示しております「本校としての基本的な考え方」は変わっておりませんのでご理解頂きますようお願いいたします。

芝生養生作業を行いました

本校は、市教育委員会の施策による学校芝生化運動時に、阪神園芸に依頼し生徒昇降口前を全面芝生化して以来、生徒たちにとってよりよい教育環境を提供しようということで維持しています。現在は、芝生の種や目土等の物品支給の予算配当しかないため、用務員の二人を中心に、毎年、方法を変えながら、教員、保護者や生徒等も参加して作業をしてきました。本年度は、PTA 活動が休止中であること、自分たちの教育環境整備の芝生を自分たちの手で作業しようという趣旨から、生徒たちの手で行うことにしました。また、会長・副会長はじめ有志の方も含めて PTA からも参加して頂きました。

張り付いた根に空気を通すためのエアレーションは、3年3組と1年1組の生徒が、先週から掃除の時間を使い行いました。そして、10月14日に、種まきは用務員が行いましたが、生徒会執行部、環境委員にボランティアの生徒も参加し、芝生の目土入れを行いました。一輪車で砂を運ぶのは大変で、その後のならしも含めて重労働でしたがよく頑張ってくれました。お疲れさまでした。

今後、冬芝の芽が出てきて、1年中緑の芝生が映える中庭になるのが楽しみですが、それは、普段の用務員の水やり、芝刈り等、手入れをしてくれている人があってのことだということを、今回の作業で、生徒たちには分かってほしいと願っています。



2020年度 理科研究児童作品展 中学生の部 館長賞を受賞!

このことについては、例年は、理科の自由研究として、夏休みの宿題にしておりましたが、本年度は夏休みが短縮されたために、課題としておりました。

そんな中でも、2年生□□□□□□が作品を提出しており、中学生49作品の中から、作品名「謎現象 下の人に声が聞こえる理由とは!？」で、最優秀賞にあたる「天文学館 館長賞」を受賞しました。おめでとうございます!